# せのさぼ定期便 令和7年11月号 Vol.205

★本誌は"企業は人なり"の考えの元に会社の業績向上にお役立ていただきたいと願い発行しています。



# 「『やればできる』と思える職場づくり~モチベーションとエンゲージメント」

#### 【図1】自己効力感を高めるための4つの要素

達成体験 (成功体験)	小さな成功でも、自信につながります。小まめに進捗確認をすることで、 達成感を実感しやすくなります。
代理体験 (モデルの存在)	自分と似た立場の人が成功している 姿を見ると、「自分にもできるかも」と 感じやすくなります。
言語的説得 (前向きな声掛け)	信頼できる上司や同僚からの励まし の言葉が、やる気を後押しします。
生理的 ・感情的な状態	心身の健康が整っていることも、自 己効力感を支える土台となります。

#### 【図2】エンゲージメントの三要素

●エンゲージメントとは次の3つ重なった状態を指す

思考面	仕事について深く考え、工夫すること
行動面	自ら動き、積極的に関わること
情緒面	仕事に熱意や楽しさを感じること

#### 【図3】エンゲージメントを高める3つの心理的条件

	心理的有意味感	「この仕事には意味がある」と感じられる状態。リクルートでは「Will(やりたいこと)・Can(できること)・Must(やるべきこと)」を明確にし、社員のやりがいと仕事の接点を見出す支援をしています。
	心理的安全性	職場で安心して感情を出せること。花王 では、管理職向けにアンコンシャス・バ イアス研修を実施しています。
	心理的可用性	エネルギーや感情を仕事にしっかり注 げる「余力」のこと。トヨタ自動車はセル フケアやライン研修、産業医との連携に より従業員のコンディション管理を重視。

# $\overline{\mathbb{Q}}$

## 事務所日誌

#### 10月の事務所の活動

9日 井原商工会議所「定例相談会」相談員

10日 人材育成交流会「実践ドラッカー事業編」に参加

15日 オンライン早朝読書会「いばら朝喝同好会」参加

16・23日 社労士会オンライン「人的資源管理」研修参加

23日 クライアント向け評価者研修の講師

25日 NPO法人ドラッカー学会20周年記念大会参加

#### 【編集好奇】

▼先日衝撃的な出来事が続けてありました。結構、年を重ねてきたので大体のことには動揺しなくなったのですが、連続すると考え込んでしまうことも。考えても仕方ないので自分がコントロールできることに集中しそれ以外は無視。これも年の功(SS)

働く人のモチベーションをどう高めるか。これは多くの企業に共通するテーマではないでしょうか。単なる「やる気」の問題として片付けがちですが、実は、心理学的な裏付けや企業の具体的な取り組みに目を向けることで、職場の活性化につながるヒントが見えてきます。

今回は、「モチベーションとは何か?」という問いから出発し、社員がいきいきと働ける環境づくりのヒントをご紹介します。

# ●自己効力感がカギ。「やればできる」を信じる力

モチベーションを考える上で欠かせないのが「自己効力感」。 「自分はやればできる」と思える感覚のこと。この感覚が高い と、困難な課題にも前向きに取り組みやすくなり、成功への意 欲も高まります。自己効力感を高めるには、次の4つが重要 な要素とされています。達成体験(成功体験)、代理体験(モデルの存在)、言語的説得(ポジティブなフィードバック)、生 理的・感情的な状態。こうした観点を職場に取り入れることで、 「やればできる」という気持ちを育てることができます。

### ●エンゲージメントの三要素、「思考・行動・感情」

エンゲージメントという言葉もよく耳にするようになりました。 心理学では、思考面、行動面、情緒面の3つが重なった状態 をエンゲージメントと定義しています。この三位一体がそろったとき、人は「本気で仕事に向き合えている」と感じるようになります。残念ながら日本のエンゲージメントは国際比較で低い水準にあります。では、どうすればエンゲージメントを高めることができるのでしょうか?

### ●エンゲージメントを高める心理的3条件

エンゲージメントを高めるには、3つの心理的条件が重要とされています。心理的有意味感、心理的安全性、心理的可用性です。モチベーションやエンゲージメントは、すぐに結果が出るものではありません。まずは「やればできる」と感じられるような、前向きな声かけから始めてみる、また、3つの心理的条件をバランスよく行ってはいかがでしょうか。

参照・引用『働く人と組織ののための人的資源管理』(中央経済社 山本寛編著)

## 「接遇マナー研修の講師」

事務所の お仕事紹介

先日、代表・妹尾がクライアント企業にて接遇マナー研修を実施。グループワーク中心のプログラムで、実践的に学びを深めました。

参加者からは「オリジナルマナー集ができた」「まず挨 拶を忘れず、そこからコミュ



ニケーションを広げたい」といった声が寄せられ、前向きな 姿勢が印象的でした。

相互に学び合い、気づき、高め合う場が醸成されることが グループワークの良さであると思います。今後も職場の活 性化を支援してまりたいりと思います。



# 【使ってみてください! 仕事で便利なショートカットキ―⑬】